

千年の森便り No.151

2016.02.18

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

事務局長 伊藤道男

sennenomori@hotmail.co.jp

活動の記録

2月13日(土) 晴午後一時小雨

参加は秋元、新井通子、鶴沢、及川、大原、久我夫妻、福島、根本、真鍋、村野、そして最近入会の水柿さんも加わり合計12名。

予報に反して天候に恵まれ、朝の相対照度調査には明るすぎでした。少人数ながら照度調査や植物調査、物置整理も順調にこなし、昼は会話も弾み、久しぶりに復帰し参加した新井さんにギャップ更新地の植生調査の中間報告もしていただきました。(真鍋)



○相対照度調査

朝一番に相対照度の調査を行いました。調査時間は10:15~11:00で、照度計8台とトランシーバー4台を使い、10人で分担して測定を行いました。測定した箇所は、ギャップ更新地(コナラ伐採地)が20点(A-1~D-5)と、千年広場、コナラ更新林、ヒメコマツ植栽地(コナラ更新林、岬)の合わせて24地点です。相対照度は、吊橋の上の照度を開放地の照度(100%)とし、これに対する各地点の相対的な照度として求めます。天気は、予想に反して林内に日が射しこむような測定には悪い条件でしたが、照度のバラツキが小さくなるように照度計に直射日光が当たらないようにして測定を行いました。千年広場ほかの過去に伐採を行った場所の相対照度は、落葉期のためいずれも60%以上と比較的高い結果でした。また、ギャップ更新地(コナラ伐採地)の相対照度は、最大が87.2%、最小が59.9%、平均が73.1%でした。(福島)



表1 島内5地点の相対照度の変化

測定箇所	相対照度 (%)						
	2013.2.17 落葉期	2013.7.15 着葉期	2014.2.23 落葉期	2014.7.21 着葉期	2015.2.15 落葉期	2015.8.30 着葉期	2016.2.13 落葉期
千年広場中央	58.4	16.4	63.9	19.3	71.5	29.7	60.3
コナラ更新林の苗畑	61.1	21.7	56.7	22.2	67.6	8.8	63.6
コナラ更新林ヒメコマツ	75.3	58.1	77.3	35.7	76.6	43.1	73.5
岬ヒメコマツ	54.6	26.6	44.4	27.7	66.9	33.1	65.3
コナラ伐採地			71.9	64.5	82.2	41.9	73.1

コナラ伐採地は、2015年2月以降20地点の平均値

表2 コナラ伐採地の相対照度 (%) (2016.2.13)

	1	2	3	4	5
A	69.6	72.2	75.4	83.0	71.3
B	73.5	78.3	85.5	87.2	76.7
C	63.5	68.4	77.5	83.0	68.5
D	59.9	65.8	70.6	70.3	61.4

○植物調査

まず北斜面を降りて湖岸のスハマソウを観察、10株ほど小さな蕾を付け開花前でした。その少し登った急斜面にコセリバオウレンが2株あり、1株は白い花をつけていました。この急峻の北斜面にシュスラン、ミヤマウズラ、アキノギンリョウソウ、キッコウハグマなどの群落が見つかり、崖にはツクシショウジョウバカマもあり、斜面と崖が植生の宝庫になっていることがわかりました。今後の調査のため自生地点をGPSに記録するとともに、竹札を挿しました。植物に誘われ、転落の危険に怯えながら人間が這いまわる急斜面を、シカは頻繁に訪れている模様で、アオキやスゲ類など食べ尽くされ、新しい糞もありました。



ミヤマウズラ



急斜面を這いまわり

午後はほこら山裏の急斜面を降りて、スハマソウを探し、約15株を確認し、うち1株開花を見ました。両斜面とも倒木や落下枯枝の散乱が多く、少しでも整備出来ればと話しながら、急斜面を這いあがりました。



植生の宝庫は荒れ放題

平坦部の植生保護柵内には既報の通りシュンランが多数株あり、蕾を付けていますが、咲き始めの株もありました。(真鍋)



スハマソウ



コセリバオウレン



ツクシショウジョウバカマ



シュンラン

北斜面で出会えた植物

秋元良夫

前回の活動日にスハマソウの落ち葉掻きを体験し、今回はその成果の確認に同じルートをたどり、スハマソウの状態を観にいきました。数株に3mmほどの白いつぼみがありました。これは落ち葉掻きの成果でしょうか。開花した姿は湖岸では確認できませんでした。

植物は凶鑑にある状態ではなかなか目にすることはできません。季節の変化や時間等の変化も忘れてはならないことです。やはり目の肥えた方でないと小さな草花を発見するのはとても難しいです。また、地面を這いつくばる様に目を凝らしていかないと見落とししてしまいます。見落とすだけなら問題は無いのですが、稀少種を踏みつける恐れもあります。今後は、より注意深く観察したいと思います。

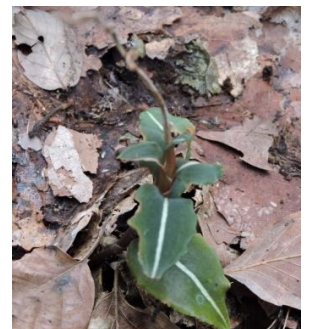
今回、新しく出会えた植物は4種類です。

シュスラン：ラン科シュスラン属 花期：8～9月 葉の中心の白い線が特徴的です。花柄が残っていました。

コセリバオウレン：キンポウゲ科 オウレン属 花期：2～3月 セリのような葉と白い花です。線香花火が飛び散るような感じを受けました。

アキノギンリョウソウ：イチヤクソウ科アキノギンリョウソウ属 花期：4～8月 枯れた状態で立っていて、蒴果に種子が残っていました。白く透き通るような状態は夏までお預けです。

キッコウハグマ：キク科モミジハグマ属 花期：9～10月 花柄が残っていました。この花は秋までお預け。



シュスラン

○野鳥記録 坂本さんは1日早く12日に島に入り野鳥調査を行いました。

オシドリ14 ホシハジロ1 キンクロハジロ7 キジバト1 カワウ1+声 オオバン声 トビ3+声
カケス声 ハシブトガラス声 ヤマガラ声+囀り シジュウカラ声+囀り ヒヨドリ声 ウグイス声
エナガ2+声 メジロ2+声 ツグミ声 カワラヒワ声+囀り マヒワ15+声 ホオジロ囀り 19種

春の繁殖期が近いので早くも囀り始めた種類がいくつかあります。ウグイスの囀り始めは来月になるでしょう。エナガは島内のいたるところで声が聞こえました。冬の間は群れて団体行動していたものが、今は分散して巣作りをしているのだと思います。トビとカワウの古巣には、いまだ手入れの様子は見られず、今年も繁殖に使われるか不明です。(坂本)

↓この巣の主は？

福島さんは13日作業の合間に野鳥の姿と声を記録。
シジュウカラ1+囀り、メジロ声、カケス声、トビ1+声、
シロハラ1+声、コゲラ1+ドラミング(珍しい)

コゲラは、昼食時に広場のすぐ横のコナラでカララララ・・・・とドラミングを行っていました。コゲラのドラミングはあまり聞きませんが、コナラの枯れた部分を嘴で叩いて良い音を響かせていました。(福島)



出口に向かう通路脇の
地上10メートルに



ギャップ更新地内切株の
萌芽の間、地上50センチ

ミヤマシキミの実

先月の活動日には赤い実が冬枯れの林床に貴重な彩を添えていましたが、12日には最後の一粒が残っているだけでした。ヒヨドリやツグミの仲間が食べてしまったものと思います。人間には致命的と言われる有毒の実でも冬を過ぎると無毒になるのでしょうか。元々鳥類には作用しない毒だったのでしょうか。(坂本)

斜面のアオキの葉は殆どシカに食べつくされていますが、ミヤマシキミの葉はアセビやシロダモ同様殆ど健在です。葉は嗜好に合わないのか、毒を忌避しているのでしょうか？(真鍋)



ミヤマシキミ

○物置整理

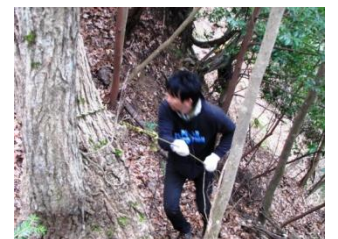
日射しがあって暖かく、作業をするには絶好の天気です。久しぶりに担当の大原さんがみえたので、4~5名で作業を進めました。物置場の下の方には、多くの品が置かれていたので、上段に竹を敷いて、使用頻度の少ないものや軽いものを積み上げ整理しました。下段の地面には、使用しなくなった木材を敷いて、常時使用する物や重たい物を置き、利用が便利になりました。14日の春一番の強風で、ブルーシートが飛ばされていないのを念じています。(久我哲也)

「ちば千年の森をつくる会」に入会しました

水柿貴史

2/13(土)に初めて活動に参加いたしました。

県内に里山団体は数多くあり、それぞれ持ち味を生かした様々な活動を行っておりますが、こちらの会では自然環境調査を中心とした活動を行っているとのこと、とても楽しみにしておりました。今回の活動では、照度調査や植物調査をさせていただき、有意義な時間を過ごすことができました。どちらの調査も、根気よく、長期間行わないと結果が見えにくいものと思います。メンバーの方々に教えていただきながら、皆



急斜面をよじ登る水柿さん

さまと協力して結果を残していけたら嬉しく思います。私は動植物昆虫ともに素人ですが、覚えたいという強い熱意があります。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、これからご指導いただけますようよろしくお願いします。当日は春一番が吹き、天気は晴れ後雨となりましたが、南風が暖かく気持ちのいい一日でした。

お知らせ

○新入会員紹介

千葉市稲毛区の水柿 貴史さんは1月22日入会されました。2014年度のちば里山カレッジ卒業です。特に植物調査に関心があるとのこと。ご活躍を期待します。宜しくお願いします。

○次回活動日 3月13日(日) 9時30分 県民の森駐車場集合、シカ個体数調査、ヒメコマツ成長調査
植物調査、野鳥調査など計画しています。多くの会員の参加を歓迎します。

○今年のきのご観察会

夏のきのご観察会は7月18日(月・海の日) 秋のきのご観察会は10月16日(日)に計画しています。
その他の活動日は決まり次第お知らせします。